

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	867 文化財保存経費	会計	01	一般会計
基本	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
策		項	05	社会教育費
1・2・3	文化財の調査と指定・登録の促進、指定文化財の修理・保存管理、民俗芸能等の保存・伝承	目	02	文化財保護費
		細目	101	文化財保存経費
		細々目	01	文化財保存経費
基本計画該当頁		142		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 450400	評価者 氏名	前田明伸	連絡先 22 - 9679 (内線) 3830
	名称 生涯学習課			

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市内にある指定文化財・指定文化財候補文化財の所有者 (※対象件数 428以上)	指定文化財の適正な保存管理を行い、後世に伝える。
根拠法令・要綱等 文化財保護法・三重県文化財保護条例・伊賀市文化財保護条例	
開始年度 平成 年度	関連事業
終了年度 平成 年度	
事業内容	状況変化等
指定文化財の保存修理事業(上野天神祭幕・春日神社大絵馬)・民俗芸能継承補助事業(正月堂の修正会・勝手神社の神事踊・植木神社祇園祭・獅子踊・太鼓踊・羯鼓踊り・獅子神楽・日置神社の神事踊・富永的祭)・市指定文化財候補の調査・国・県・市指定文化財の保存管理状況の把握と適切な保護管理についての助言・国史跡(御墓山古墳・伊賀国分寺跡)の草刈り・伊賀市文化財保護審議会の開催・伊賀市文化財保護指導委員によるパトロール	国指定文化財にかかる既存の保存施設や用具などが老朽化して修理する必要性がでてきている。昨今、仏像などの盗難が多くあり、保存施設建設や防犯設備設置の要望がでてきている。指定文化財が傷んできていて、緊急に保存修理工事が必要なものがある。無形民俗文化財の後継者が減ってきたので行事の継続が危なくなっているものがある。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
保存修理事業の指導と助成	件	目標 4 実績 3	目標 2 実績 2	2	2
指定文化財の保存管理状況のパトロールと適正な保護管理についての助言	件	目標 40 実績 43	目標 40 実績 59	50	50
指定文化財候補の調査	件	目標 8 実績 7	目標 8 実績 4	4	4

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
指定文化財の保存修理	指定文化財の適正な保存管理や助成を行なうことにより、文化財を後世に伝える。	件	目標 4 実績 3	目標 2 実績 2	2	2
文化財の指定	重要な文化財を市指定文化財に指定する。	件	目標 4 実績 1	目標 3 実績 1	3	3

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	重要な文化財を国指定文化財・県指定文化財・市指定文化財に指定し、現状変更の制限を加えるとともに、所有者への適正な管理を指導し、費用の一部を補助することによって、文化財の保護を図っている。
有効性	4	文化財を後世へ伝えることができるようになった。
達成度	4	所有者と充分協議して進めていったので、今後も文化財が適正に保護管理されている。
効率性	4	保存修理工事を実施する場合、国指定文化財は国の補助、県指定文化財は県の補助を受けてすすめているので、一般財源は少なくなっている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	文化財の適正な保存に加えて、天神祭講演会・おはやし体験・子ども学習スタンプラリー等の市民の参加による活用、さらなる文化再興事業による映像記録作成(県事業・市協力)を通じて、文化財愛護意識の高揚と地域への愛着を高めていきたい。

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	↔	保存修理費補助	3	1,085	保存修理費補助	2	1,179	保存修理費補助	2	1,600	保存修理費補助	3	3,017	保存修理費補助	2	3,017	保存修理費補助	2	3,200
工事	↔	民俗芸能継承補助	9	682	民俗芸能継承補助	9	313	民俗芸能継承補助	9	313	民俗芸能継承補助	9	313	民俗芸能継承補助	9	313	民俗芸能継承補助	9	313
		審議会等報酬		254	審議会等報酬		280	審議会等報酬		280	審議会等報酬		280	審議会等報酬		280	審議会等報酬		280
進捗率(%)		消耗品・燃料費等		332	消耗品・燃料費等		350	消耗品・燃料費等		402	消耗品・燃料費等		402	消耗品・燃料費等		350	消耗品・燃料費等		350
		旅費		221	旅費		217	旅費		215	旅費		215	旅費		217	旅費		217
		草刈委託料		1,565	草刈委託料		1,361	草刈委託料		1,361	草刈委託料		1,361	草刈委託料		1,361	草刈委託料		1,361
		土地賃借料		500	土地賃借料		112	土地賃借料		112	土地賃借料		112	土地賃借料		112	土地賃借料		112
		工事費・修繕料		196	工事費・修繕料		677	工事費・修繕料		592	工事費・修繕料		592	工事費・修繕料		592	工事費・修繕料		592
		その他		75	その他		135	その他		128	その他		128	その他		128	その他		128
事業費計(A)		Σ	4,910	事業費計(A)	Σ	4,624	事業費計(A)	Σ	5,003	事業費計(A)	Σ	6,403	事業費計(A)	Σ	6,370	事業費計(A)	Σ	6,553	
事業投入人員		人件費(B)	2.3	人 16,560	人件費(B)	1.5	人 10,800	人件費(B)	1.5	人 10,800	人件費(B)	1.5	人 10,800	人件費(B)	1.5	人 10,800	人件費(B)	1.5	人 10,800
フルコスト(A)+(B)				21,470			15,424			15,803			17,203			17,170			17,353

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	4,910	4,624	5,003	6,403	6,370	6,553
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	4,910	4,624	5,003	6,403	6,370	6,553
計	4,910	4,624	5,003	6,403	6,370	6,553
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					